

省力・生産性向上に

シルウオッチ システム 2019モデル



取扱説明書
Ver.1.0

製造販売元

 株式会社 **東京信友**

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-5 新宿KMビル

TEL **03-3358-8000**

FAX **03-3358-6330**

<http://www.shinyu.co.jp/>

E-mail : info@shinyu.co.jp

目次

ご使用になる前に

安全上のご注意	1
取扱上のご注意	1
電波について	1
日常のお手入れ	2
故障かな?と思ったら	2
シルウォッチの充電について	2

双方向シルウォッチシステムの概要

1.通常の呼び出し・応答	3
2.複数の対象から個別に呼び出し	3
3.中継器(SWSR-P125)により広範囲での使用に対応	4

各部のなまえと機能

腕時計型送受信器(SWSR-2130)	5
---------------------	---

シルウォッチのご利用準備

腕時計型送受信器(SWSR-2130)を充電する	6・7
電源を入れる	8

基本的な機能

1.腕時計型送受信器(SWSR-2130)	9・10・11
2.充電器(SWC-1140)	12
3.送受信器(SWSR-P125)	13・14
4.中継器(SWSR-P125)	15

シルウォッチの使い方

設定メニュー	16・17
時刻設定	18
アラーム設定	19・20
ブザー設定	21
呼出秒設定	22
呼出時バックライト設定	23
ID確認	24
通信確認	25
履歴設定	26
リモート設定	27
無線設定	28
充電時無線設定	29
動作設定	30
機器・IDバージョン	31
間欠ミリ秒確認	32
バンドの着脱方法	33
よくあるご質問	34
仕様	35

この度は「シルウォッチ」をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用いただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

ご使用になる前に



警告

電源を入れた状態で分解したり、内部を触ったりしないでください。
感電の恐れがあります。

安全上のご注意

- 転倒時や他人との接触など、腕時計型送受信器の装着が原因で思わぬ怪我を負うことがありますのでご注意ください。特に乳幼児と接する場合は、怪我やアレルギーに十分ご注意ください。
- 送受信器、中継器、充電器に接続するACアダプタは、ゆるみがないようしっかりと差し込んでください。差込みが不十分だと発火・故障・感電・火災の原因となります。
- 高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器などの中に入れてください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- 火の中に投入したり、過熱したりしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
- お客様による分解や改造・修理をしないでください。発火・故障・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品などに不具合が生じても(株)東京信友では一切の責任を負いかねます。送受信器の改造は電波法違反になります。
- 腕時計型送受信器は防水機能を有していますが、万一、水などの液体に濡れたまま使用すると故障の原因となります。
- 腕時計型送受信器が濡れた状態で充電しないでください。感電や故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は、保証対象外となり、修理ができません。
- 送受信器、中継器は、旅行など長時間当製品をご使用にならない場合は、安全のためACアダプタをコンセントから抜き取ってください。また電池をご使用の場合は電池を抜き取ってください。漏電や漏液、故障の原因となります。
- 送受信器、中継器は、配線コードは首や手足にからまないように設置、固定してください。思わぬ怪我を負うことがあります。特に赤ちゃんセンサー用マイクコードは短めにしっかり固定してください。首や手足にからまったり、飲み込む恐れがありますので十分ご注意ください。

取扱上のお願

- 腕時計型送受信器はJIS防水保護等級5級相当の防水機能を有しておりますが、完全防水というわけではありません。本体内部に浸水させたり、雨の中や水滴がついたままでの操作は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 送受信器、中継器、充電器に水をかけたりしないでください。送受信器、中継器、充電器は防水機能を有していません。
- 腕時計型送受信器に無理な力がかかると液晶画面や内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ご注意ください。外部に破損がなくても保証の対象外となります。
- 送受信器や中継器は屋外や風呂場など水のかかる場所には取り付けしないでください。またドアや引き戸などの振動する場所に取り付けしないでください。落下による怪我や製品故障の原因となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けてください。（動作温度の範囲内でご使用ください。）
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると、外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。また、ほこりなどが付着した場合には、柔らかい布などで軽く拭き取ってからご使用ください。
- 腕時計型送受信器で使用している液晶画面は、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど湿度が急に変化するような場所で使用された場合、腕時計型送受信器内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- 液晶画面やボタンの表面に爪や固いものなどを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 液晶画面を拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。ガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 腕時計型送受信器、送受信器は不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 初めてお使いになるときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。（充電中、本体が温かくなることがありますが、異常ではありません。）
- 腕時計型送受信器のリチウムイオン電池は、ご使用前に2～3回程度充放電を繰り返すことで、電池が活性化されて安定して動作する場合があります。
- 新品の電池を充電して使用しても電池がすぐに無くなる場合や、電池の消耗が以前より早くなったという現象は、電池または本体の電池接点部の汚れや、リチウムイオン電池の特性が原因である場合があります。
- 電池消耗が早い、充電してもすぐ電池が無くなる、といった症状の原因には 電池残量が少なくなっている以外に、腕時計型送受信器の接点部や、充電器の電池接点部分に汚れが付着しているという場合があります。その結果、必要な電流を取り出せない、もしくは充電不足で、腕時計型送受信器の反応が鈍くなる場合があります。

電波について

- 送受信器、中継器、腕時計型送受信器をパソコンやプリンタなどのOA機器やテレビ、電子レンジ、冷蔵庫などの家庭用電化製品の近くで使用した場合、電波の到達距離が短くなる場合があります。
- 電波の到達距離は電波の進行を妨害する鉄筋、コンクリート、断熱材、防火ガラスなどの使用状況によって短くなる場合があります。

日常のお手入れ

*共通事項

- ケースやバンドに付着した水や汗は袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので、柔らかい布などで拭きとってください。
- 清掃には洗剤を使用しないでください。ケースやバンドが変質することがあります。

*腕時計型送受信器

- 充電端子が汚れた場合は、綿棒などの柔らかい突起物でやさしく拭きとってください。

*充電器

- 充電端子が汚れた場合は、柔らかい布などでやさしく拭きとってください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら腕時計型送受信器の電池残量を確認のうえ、早めに充電してください。それでも改善されないような場合は、各装置のACアダプタの接続をご確認ください。また送受信器、中継器を電池でご使用されている場合は、電池寿命が切れていないか、しっかり装着されているかご確認ください。改善されない場合は、当社または販売店へお気軽にお問い合わせください。

シルウォッチの充電について

シルウォッチにはリチウムイオンバッテリーが使われています。誤った使用方法や保管方法によって十分な性能を発揮できず、劣化を早めたり、発熱や変形、破損に至るケースも発生しています。バッテリーを正しく安全に使用するために本説明文を熟読頂くことをお願い致します。

*充電について

- リチウムイオンバッテリーは過充電、過放電により劣化が急激に進みます。電池切れの湯合は、速やかに充電してください。
 - ※過放電とはバッテリー残量が0%になるまで使い切り、そして放置（さらに放電）してしまうことです。過充電は満充電にも関わらずさらに長い時間充電し続けることです。
- 充電には専用の充電器以外使用しないでください。他の充電器で充電を行うと事故の原因になります。
- 充電を終了したシルウォッチは2～3日以内には充電器から取り外して下さい。充電完了の電池を長期間放置してしまうとバッテリーに悪影響を与える可能性（過充電等）があります。
- 充電器が濡れている状態で使用しないでください。感電、ジョートの原因となります。
- 充電器の銘版に明記されている電圧でのみご使用ください。充電不足や過充電を引き起こす可能性があります。
- 充電器を、分解したりしないでください。機器に悪影響を与えます。
- 充電コードが破損している場合、使用しないでください。ショートや火災の原因となる可能性があります。

*保管時の注意

- シルウォッチを高温になる場所に保管しないでください。バッテリーを劣化させる原因となります。特に炎天下の車中などは避けてください。
- 長期間（一週間以上）使用しない時は、シルウォッチを機器から取り外してください。シルウォッチを長期保管する場合は50%程度充電した状態で、温度が低く、20℃以下の場所での保管をお勧めします。良好な環境で保管している場合も1ヶ月に一度は充電（50%程度）してください。1ヶ月に一度補充充電できない場合は満充電にし、3ヶ月に一度は満充電にしてください。
 - ※バッテリーは深放電状態（0%）での放置により劣化を招きます。

*使用上の注意

- 使用する前に必ずシルウォッチの取扱説明書をお読みください
- シルウォッチを濡れたままの使用はしないでください。故障の原因となります。
- シルウォッチは充電器に正しく接続してください。接続が不十分な場合は接触不良でショートしたり、機器が作動しないことがあります。
- 熱のこもる場所では充電しないでください。0℃以下、40℃以上では充電しないでください。
- シルウォッチに強い衝撃を加えたり、クギ等で穴をあけたりしないでください。破損、変形、ジョートの原因となり、非常に危険です。
- シルウォッチの異常（高温、膨れ等）に気付いたら使用を中止してください。異常状態で使用を継続すると機器に悪影響を与え、非常に危険です。
- 新品時と比較して使用時間が半分程度になった場合、寿命と判断し電池交換をお勧めします。使用頻度、保管環境などにより変化致します。

*リチウムイオンバッテリーの特徴

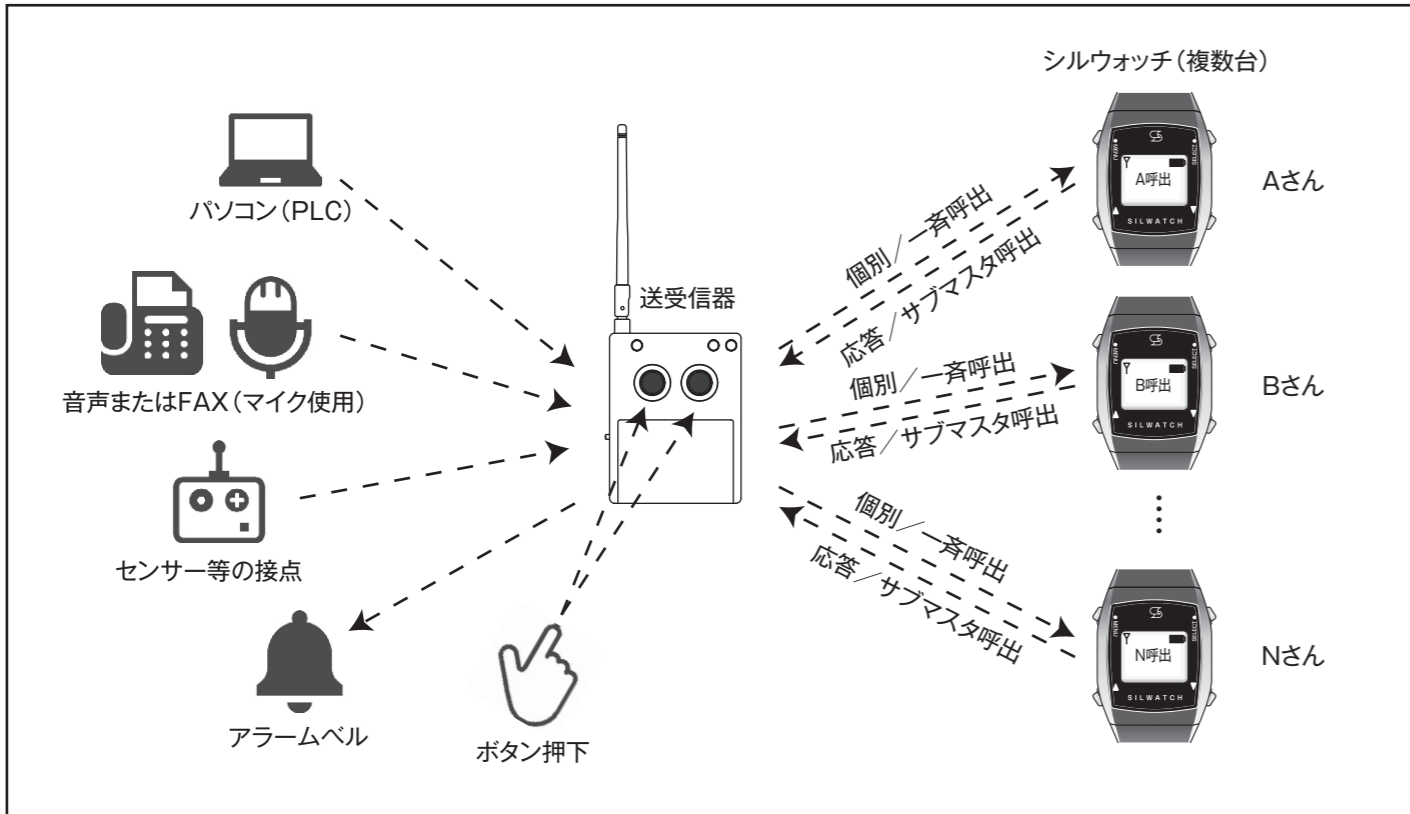
- メモリー効果がほとんどなく、継ぎ足し充電を繰り返しても容量低下がありません。
- リチウムイオンバッテリーは安全性を高めるために保護回路や制御装置が組み込まれています。
- リチウムイオンバッテリーはエネルギー密度が高く、小型で軽量です。
- シルウォッチに内蔵されているリチウムイオンバッテリーの寿命は300～500サイクルとしております。
- 寿命サイクルは使用環境、頻度、保管状態等により大きく変化致します。したがって、最大サイクルを保証するものではないをご理解ください。いかに高性能バッテリーでも、携帯電話やパソコンなどと同じく継続して使用して行くうちに使用時間が短くなります。また、シルウォッチの作動が完全に停止するまで使用することを頻繁に繰り返したり、一度、完全停止した後、少し時間を置き、再度作動させるような使い方はバッテリーの寿命を著しく短くします。
- リチウムイオンバッテリーは消耗品です。寿命を迎えたら速やかに電池交換をお願い致します。

電池交換は、弊社が有償にて責任をもって行います。

双方向シルウォッチシステムの概要

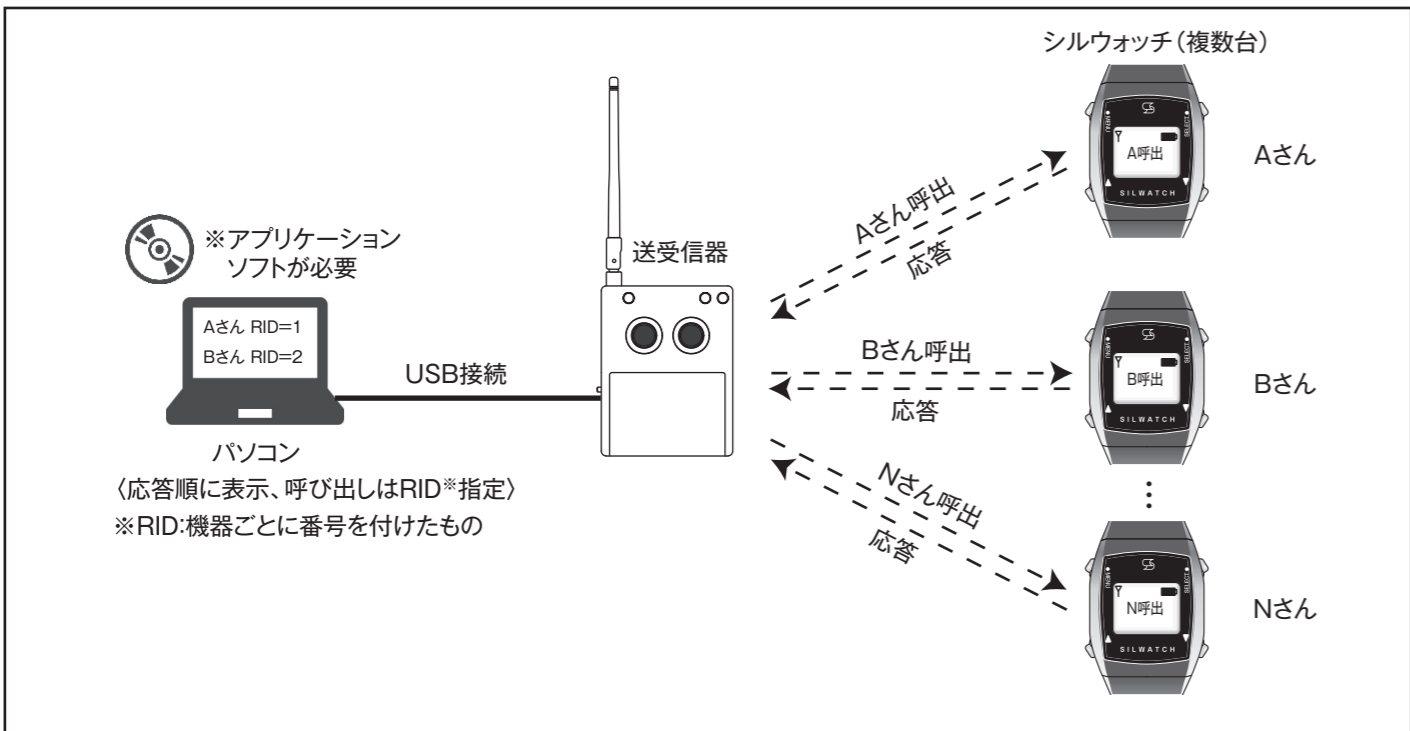
1. 通常の呼び出し・応答

パソコン (PLC) ・各種センサーの信号を送受信器が受信するとシルウォッチに呼出信号を発信します。シルウォッチで誰かが応答すると、応答者以外のシルウォッチに応答者名が表示され、応答者が対応中であることが分かります。また、シルウォッチから送受信器を通して他のシルウォッチを呼び出すこともできます。(サブマスター呼出)



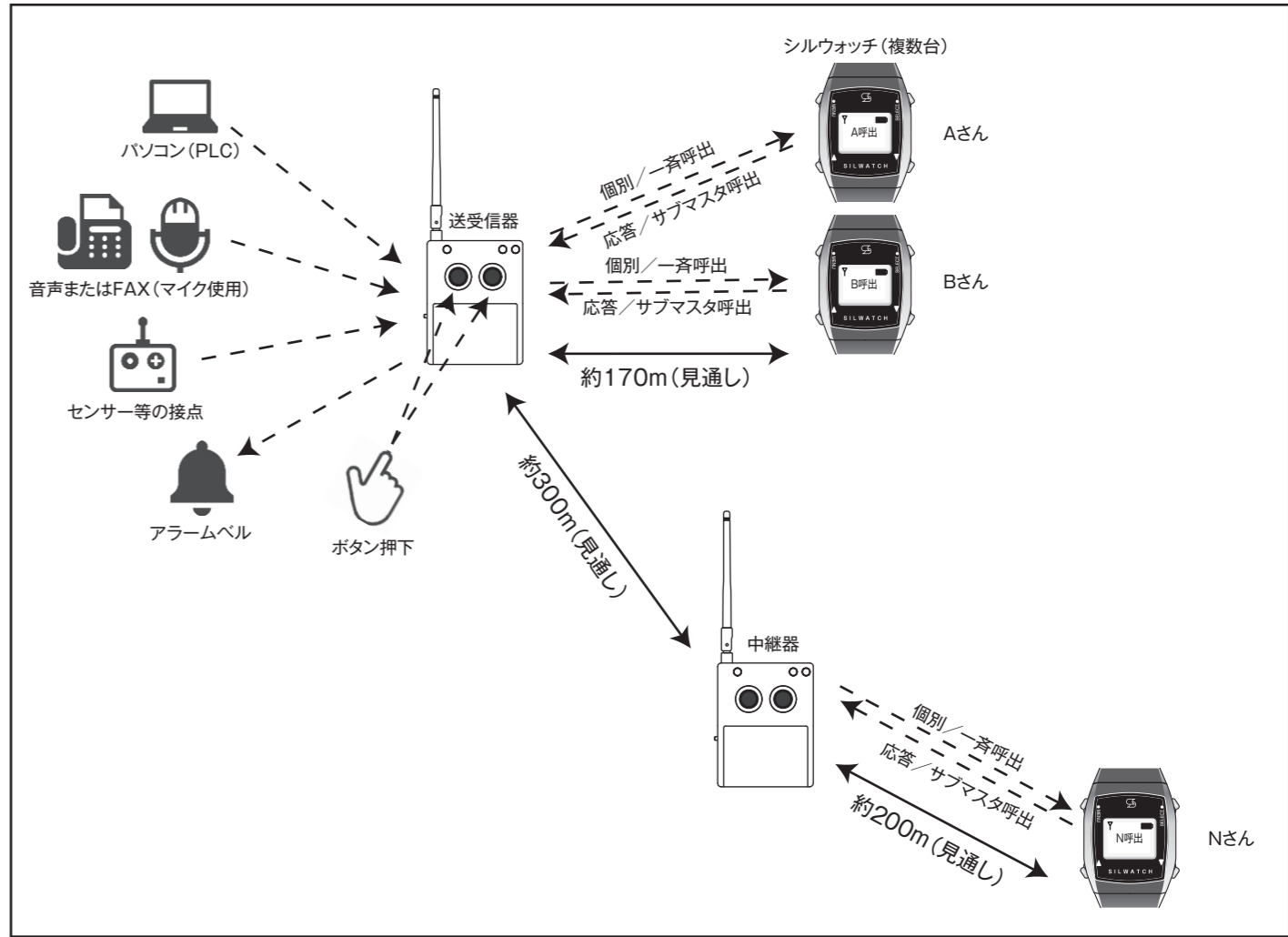
2. 複数の対象から個別に呼び出し

パソコンに専用アプリケーションソフトをインストールすると、複数の対象の中から相手を指定して呼び出しができます。この場合もシルウォッチからの応答を確認できますので、災害時等の安否確認としてもご利用いただけます。また、グループ ID を設定すればグループごとに呼び出すことも可能です。



3. 中継器 (SWSR-P125) により広範囲での使用に対応

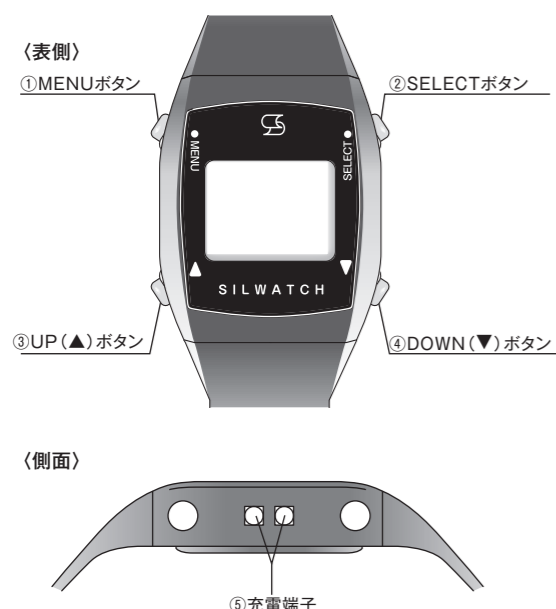
送受信器からの信号をシルウォッチが受信できる距離は約 200m (見通し) ですが、中継器を設置することで約 300m 延長できます。また、中継器は複数台設置可能です。



※電波の到達距離・遅延時間は、ご使用の環境・電波状態によって変わります。
※中継器を 1 台経由するごとに約 2 ~ 5 秒の遅延が発生します。遅延時間については P15 をご覧ください。

各部のなまえと機能

腕時計型送受信器 (SWSR-2130)



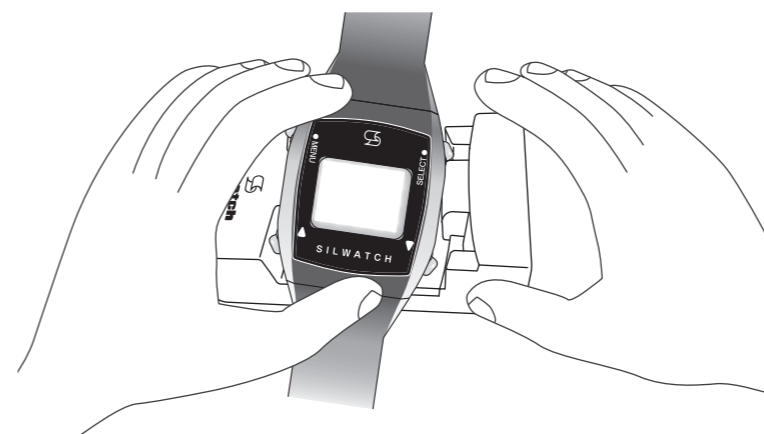
- ①MENUボタン：電源を入れる時に使用します
設定時、MENUボタンを押すと設定が取り消され、時刻表示に戻ります。
時刻は24時間表記です。
 - ②SELECTボタン：設定メニューに入るときに使用します。
設定の決定ボタンとして使用します。
メッセージ受信時に応答ボタンとして使用します。
 - ③UP(▲)ボタン：設定メニューなどの表示を進める時に使用します。
 - ④DOWN(▼)ボタン：設定メニューなどの表示を戻す時に使用します。
- バックライト：ボタンを押す、または受信時に8秒間点灯します。
- ⑤充電端子：本体を充電するための端子です。充電には専用の充電器を使用します。



- ※記号の意味
- Y：無線設定がONの時に表示されます。受信できる状態です。
 - Y：これから信号が来ますという時にアンテナが1本表示されます。
 - Y Y：信号の取得を開始した時にアンテナが2本表示されます。
 - Y Y Y：信号の取得が完了し、アンテナが3本表示され、振動・文字表示を開始します。
- △：アラーム設定がONの時に表示されます。
 - 🔊：ブザー設定がONの時に表示されます。受信時、アラーム作動時にブザー音が鳴ります。

シルウォッチのご利用準備

腕時計型送受信器 (SWSR-2130) を充電する



お買い上げ時には、電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなり「要充電」と表示されたら、充電してご使用ください。

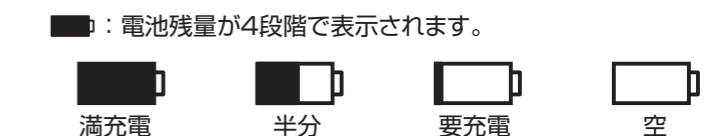
- ⚠ 腕時計型送受信器の充電端子の向きをよく確認してから充電してください。
- ⚠ 腕時計型送受信器を充電器にしっかり装着してください。しっかり装着されていないと、充電が途中で切れる可能性があります。
- ⚠ 腕時計型送受信器が水に濡れた状態で充電しないでください。感電や故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は、保障対象外となり、修理ができません。
- ⚠ 水や火の元、壊れやすい物の近くで充電しないでください。感電や故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は、保障対象外となり、修理ができません。
- ⚠ 枕元や壊れやすいものの近くで充電する場合には、転倒や落下などに十分注意してください。

充電時の電池寿命

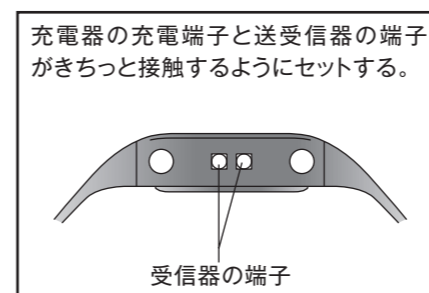
満充電の場合、1日5~6回の受信で約4日程度腕時計型送受信器に内蔵されている充電電池は消耗品です。満充電でのご使用可能時間が極端に短くなったら充電電池の交換時期です。当社または販売店にご依頼ください。
※ご自身では電池交換は行わないで下さい。

充電時期の確認方法

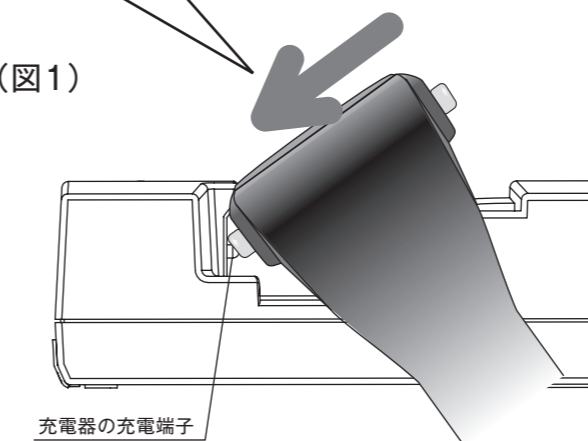
腕時計型送受信器に「要充電」と表示されましたら、早めに充電をしてください。



- ⚠ 電池マークが空になったら受信をしなくなり電源がOFFになります。
- ⚠ 電池マークが空になる前に充電することをお勧めします。

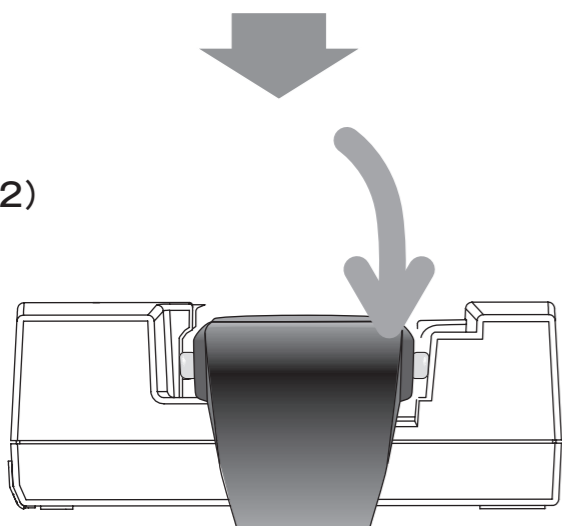


(図1)

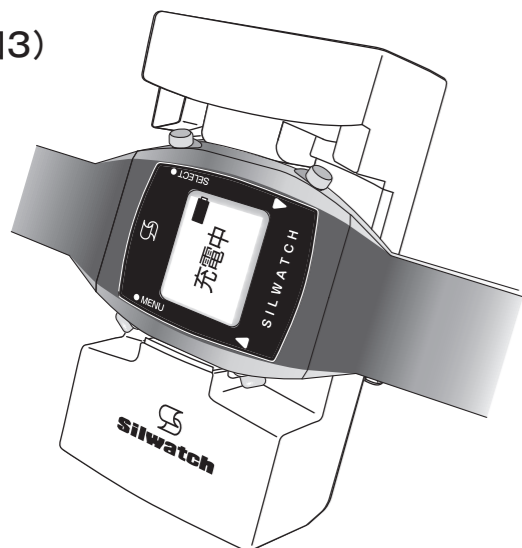


- ①腕時計型送受信器の左側の端子部分を充電器の充電端子に合わせ本体を押し入れます。(図1)

(図2)



(図3)



②腕時計型送受信器を下ろして、充電端子の位置を合わせます。
(図2)

③腕時計型送受信器の液晶画面に「充電中」の文字が表示され
充電が開始されます。(図3)

※充電時は必ず図3のようにスタンドを立てた状態でご使用ください。

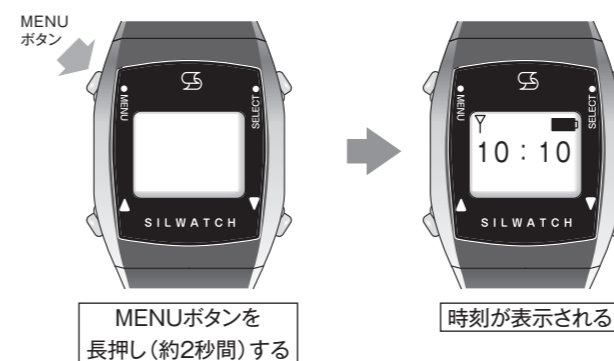
■充電時の文字表示

- ・電源ONの時の充電は「充電中」の文字を表示、電源OFFの時は電源ONとなり、同じく「充電中」の文字が表示されます。
- ・充電終了後は「充電中」の表示が消えます。
- ・充電時無線設定ON設定時には、充電中でも受信内容を表示できます。(出荷時はOFF)
ただし、この場合でも充電器装着後、約3分間は受信できません。(Yマークも出ません)
- ※充電時無線設定をご確認ください。(P29)

■充電器取り扱いのご注意

- ・腕時計型送受信器と充電器の端子にゴミや汚れ等が付きますと充電しにくくなる場合がありますので、やわらかい布などできれいにふき取ってから充電してください。
- ・充電器端子を掃除する場合は、念のため電源コードを抜いてから行ってください。
- ・約3時間で充電が完了します。(充電が完了すると全ての表示が消えます。※初期設定時)
- ・MENUボタンを長押し(約2秒間)すると電源が入ります。
- ※電源を入れる方法はP8をご覧ください。

電源を入れる



MENUボタンを長押し(約2秒間)する

時刻が表示される



時刻が表示される

【電源を入れる方法】

MENUボタンを長押し(約2秒間)してください。時刻が表示されます。
※時刻は合っていないこともあります。

【ご注意ください】

ご購入時、または充電が空の状態から充電した場合、充電完了しても画面の表示はありません。MENUボタンを長押し(約2秒間)してください。時刻が表示されます。
※時刻は合っていないこともあります。
※時刻設定を行ってください。(P18)
※電源を切るときは動作設定(P30)をご覧ください。
※充電時無線設定ON設定時に充電完了しますと「充電中」の文字が消え時刻が表示されます。

IDについて

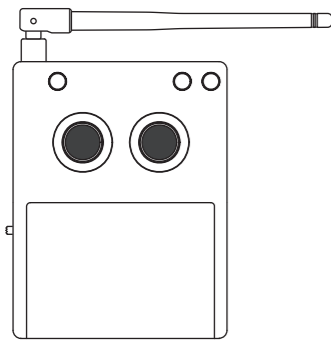
双方向シルウォッチは出荷時に、一斉呼出し、個別呼出し、応答をする為のグループ、個体を識別する為の各ID設定を行っています。取扱説明書の文中に下記の略語句が表記されています。

- GID:(グループID)受信グループを設定するID
- MID:(メッセージID)送信するメッセージのID
- RID:(ラジオID)送受信器個体のID

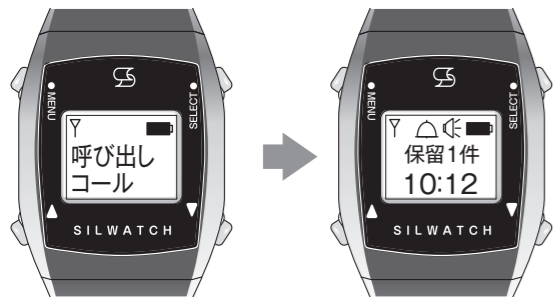
基本的な機能

1.腕時計型送受信器 (SWSR-2130)

〈送受信器側 (呼び出し)〉



送受信器の自動・送信ボタン押下、各センサーからの信号受信・パソコン(PLC)からの信号を受信すると呼び出し信号を送信



振動約10秒間(10回)
液晶点灯・メッセージ表示約10秒間

通常画面(保留有)に戻る

通常時は24時間表示の腕時計としてご使用いただけます。また、アラーム設定により目覚まし・リマインダーとしてもご使用いただけます。

【基本的な動作 (応答)】

- ・腕時計型送受信器の液晶画面は常時、24時間表示で時刻が表示されています。
- ・送受信器から発信された信号を腕時計型送受信器が受信すると、振動で通知するとともに、液晶が点灯 (バックライト) し、メッセージを表示します。
- ・振動は約10秒間 (10回)、液晶点灯・メッセージ表示は約10秒間表示した後、元の時刻表示 (保留有) に戻ります。
- ・受信途中で振動などを解除する場合は、MENUボタンを押して保留にしてください。
- ・応答する場合は、SELECTボタンを押してください。SELECTボタンを押すと送信画面で応答を送信し、作業中画面となります。作業中画面は送信画面と同じです。応答者以外の腕時計型送受信器には (応答者名) 対応中と表示されます。
- ※複数の人が応答した場合、最初に応答した人の応答者名が他の腕時計型送受信器に表示されます。(電波状況によって、2番目以降の応答者名が表示されることがあります。)
- ※保留した呼び出しに後から応答送信することもできます。保留からの応答送信方法はP11をご覧ください。
- ・電波の到達距離は見通して約200mです。(使用環境や条件により異なります。)

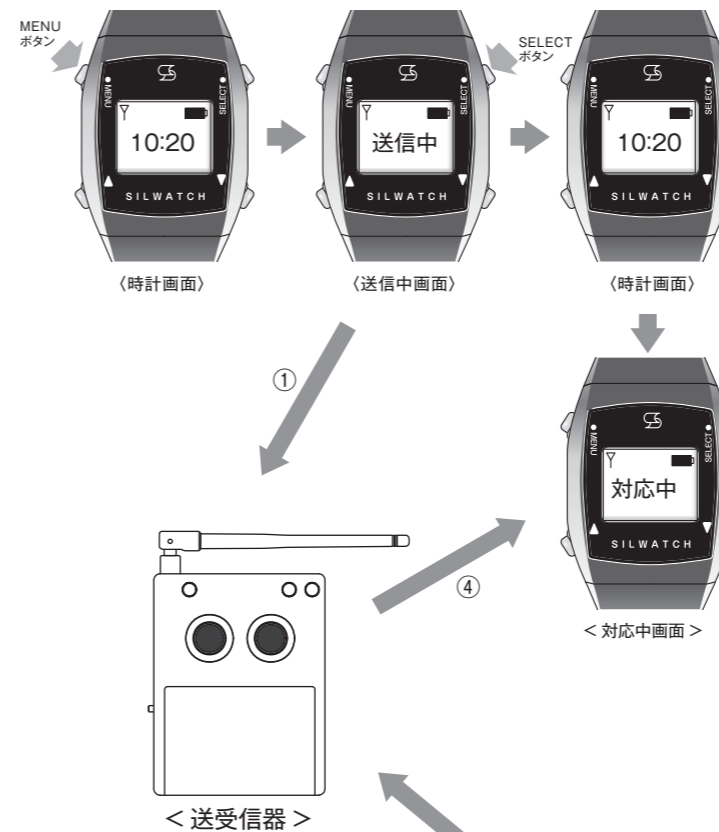
(注) 送信器から信号が発信され、腕時計型送受信器が受信するまで、約2秒程度かかります。

※アラームの設定・解除方法はP19をご覧ください。

〈受信側 (応答)〉



〈サブマスタ側〉



【サブマスタ呼び出し】

シルウォッチから送受信器を経由して他のシルウォッチを呼び出すことができます。

- ・サブマスタ (呼出を行うシルウォッチ) で呼出内容に対応したボタン (MENU/▲/▼) を長押し (約2秒) します。送信中画面が表示された後に呼出内容が表示され、パイプ/ブザーが鳴動します。送信が完了すると時計画面に戻ります。
- ・受信シルウォッチは、呼出画面となり、パイプ/ブザーが鳴動します。
- ・呼出画面のシルウォッチで、SELECTボタンを押すと送信画面で応答を送信し、作業中画面となります。作業中画面は、呼出画面と同じです。
- ・応答者以外の受信シルウォッチには (応答者名) 対応中と表示されます。
- ※複数の人が応答した場合、最初に応答した人の応答者名が他の受信シルウォッチに表示されます。(電波状況によって、2番目以降の応答者名が表示されることがあります。)
- ・作業中画面のシルウォッチは、作業を完了したら、SELECT/▲/▼のいずれかを押し、作業完了を送信します。作業完了の送信が終了すると、時計画面に戻ります。

〈受信側 (応答)〉



※本図は正常に呼び出し・応答が行われた際のイメージ図です。



【保留履歴表示 (1画面モード)】

- ・時計画面で、▼ボタンを押すと、保留履歴画面を表示します。
- ・保留履歴が1件もない場合は、時計画面のままです。
- ・保留履歴画面は、保留履歴件数画面と保留履歴電文画面が2秒毎に交互に表示されます。
- ・保留履歴件数画面は、保留順番、全保留履歴件数、保留後の経過分数を表示します。
- ・保留履歴電文画面は、保留された呼出電文を表示します。
- ・保留履歴画面で▼ボタンを押すと、次の保留履歴画面を表示し、▲ボタンを押すと前の保留履歴画面を表示します。
- ・最終の保留履歴画面表示中に、▼ボタンを押すと、最初の保留履歴画面を表示します。
- ・最初の保留履歴画面表示中に、▲ボタンを押すと、最終の保留履歴画面を表示します。

※保留履歴は受信から15分経過すると自動的に消去されます。手動で保留履歴を消去する場合は、保留履歴表示画面で消去したい保留履歴を表示させ、▲ボタンと▼ボタンを同時に長押しします。

※一度保留した呼び出しに後から応答する場合は、応答したい保留履歴の表示画面で SELECT ボタンを押します。

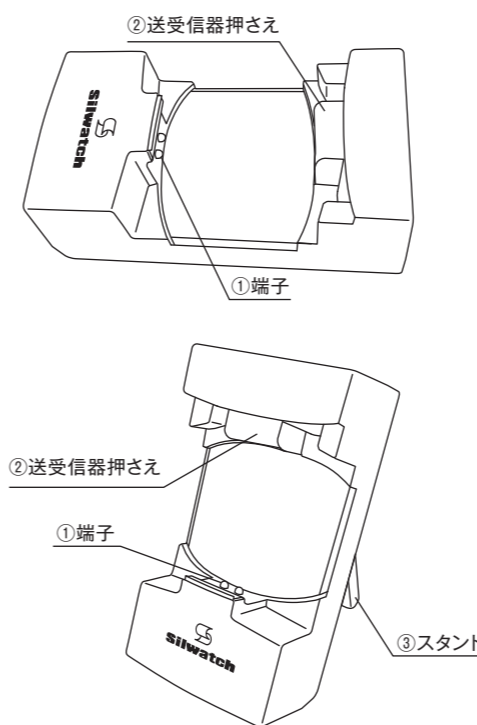


【受信履歴表示 (1画面モード)】

- ・時計画面で、▲ボタンを押すと、受信履歴画面を表示します。
- ・受信履歴が1件もない場合は、時計画面のままです。
- ・受信履歴画面は、受信履歴件数画面と受信履歴電文画面が2秒毎に交互に表示されます。
- ・受信履歴件数画面は、受信順番、送信元ラジオID、受信した時刻を表示します。
- ・受信履歴電文画面は、受信された電文内容を表示します。
- ・受信履歴画面で▼ボタンを押すと、次の受信履歴画面を表示し、▲ボタンを押すと、前の受信履歴画面を表示します。
- ・最終の受信履歴画面表示中に、▼ボタンを押すと、最初の受信履歴画面を表示します。
- ・最初の受信履歴画面表示中に、▲ボタンを押すと、最終の受信履歴画面を表示します。

※保留履歴・受信履歴表示は2画面モードに切り替えられます。切替方法はP26をご覧ください。

2.充電器 (SWC-1140)



- ①端子：腕時計型送受信器の充電に使用します。
- ②送受信器押さえ：充電中、送受信器の充電端子が外れないようにバネで押さえます。
- ③スタンド：充電時は必ずスタンドを立ててご使用ください。

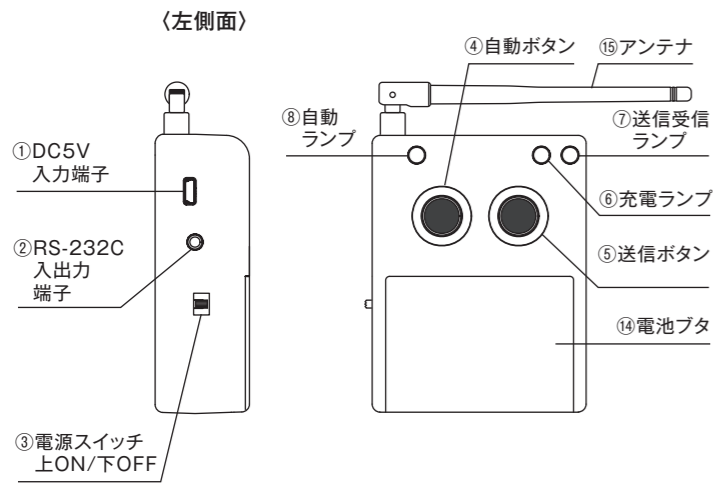
【基本的な動作】

- ・腕時計型送受信器を充電器にセットすると「充電中」と表示され、充電を開始します。
- ・約3時間で充電が完了します。(「充電中」の文字が消え元の時刻表示に戻ります)

【ご注意ください】

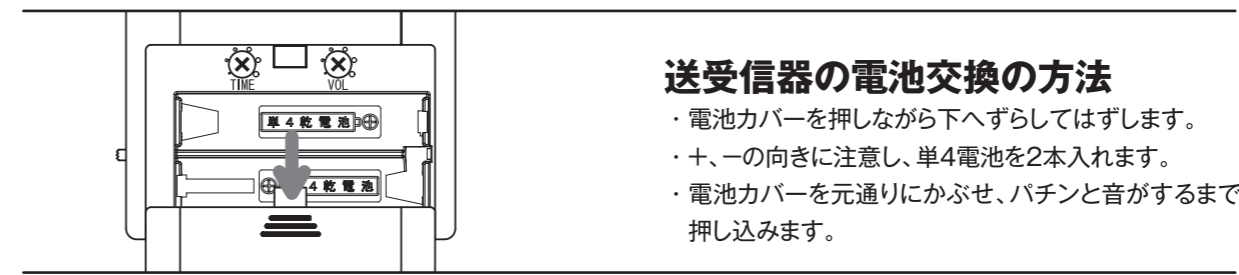
- ・ご購入時または充電が空の状態から充電した場合、充電が完了すると画面表示はありません。MENUボタンを長押し(約2秒間)してください。時刻が表示されます。
- ※時刻は合っていないことがあります。
- ・ACアダプタのプラグを充電器に差し込む時は、プラグの形と充電器側のジャックの形を正しく合わせて挿入してください。
- ・充電器・送信器につなぐアダプタは、コードをなるべく曲げずにご使用ください。断線の原因になります。

3.送受信器 (SWSR-P125)



- ① **DC5V入力端子**：
付属の専用ACアダプタを接続します。USBミニBコードを使いPCからも電源が取れます。
- ② **RS-232C入出力端子** (φ3.5ステレオミニプラグジャック)：
専用のRS-232C入出力コードを接続します。
- ③ **電源スイッチ**：ご使用時は電源スイッチをON(上側)にして下さい。
- ④ **自動ボタン**：
ボタンを押すと指定された呼出を指定回数繰返し行う。
- ⑤ **送信ボタン**：呼び出し時にボタンを押します。
- ⑥ **充電ランプ(赤)**：
電池の充電中、点灯します。電池が充電不可の場合0.5秒周期で点滅します。
電池の充電/交換時期が近付くと瞬時点灯を繰り返します。
- ⑦ **送信受信ランプ**：電波の送信時に約0.5秒間緑色に点灯し、受信時に0.5秒間オレンジ色に点灯します。
- ⑧ **自動ランプ(黄)**：自動ボタンで繰返し呼出中に点灯します。
- ⑨ **音声検出時間調整ダイヤル**：
外部音声の検出時間を調整することにより、誤作動を抑止できます。検出が可能な限り、ダイヤルを左に回し数値を小さくします。
- ⑩ **音量入力感度調整ダイヤル**：
外部音声の入力レベルを調整することにより、誤作動を抑止できます。検出が可能な限り、ダイヤルを左に回し数値を小さくします。
- ⑪ **外部接点入力端子** (φ2.5ステレオスーパーミニプラグジャック)：
専用の外部入力コードを接続します。1接点入力と2接点入力に対応します。
- ⑫ **音声入力端子** (φ3.5モノラルミニプラグジャック)：
それぞれ専用の外部入力コードを接続します。音声入力、光センサー入力、ファックス入力、に対応します。
- ⑬ **外部接点出力端子** (φ2.5ステレオスーパーミニプラグジャック)：
専用の外部出力ケーブルを接続します。最大2接点出力に対応します。出力は外部入力、押しボタンスイッチ、音声入力のいずれかと連動させて出力させることができます。
- ⑭ **電池ボタン**：単4電池を入れ換える際にスライドして開けます。
- ⑮ **アンテナ**：ご使用時は垂直に伸ばしてお使いください。

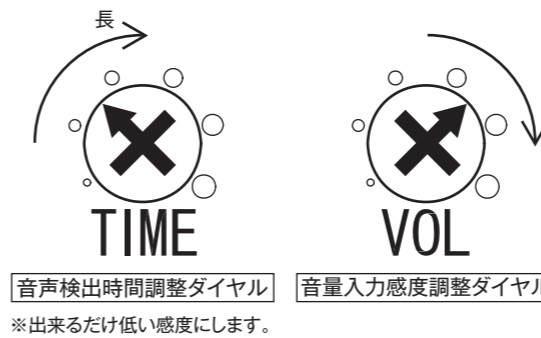
・送受信器は単4電池2本もしくはACアダプタで動作します。
(電池とACアダプタを併用使用した場合はACアダプタからの電源が優先されます。尚、長時間ご使用にならない時は電池を取り外しておいてください)
※単方向仕様の送信器としてご使用の場合は、自動ボタン・送信ボタンを長押し(2秒程度)してください。外部接点入力と音声入力は2秒以上入力を入れてください。



送受信器の電池交換の方法

- ・電池カバーを押しながら下へずらしてはずします。
- ・+、-の向きに注意し、単4電池を2本入れます。
- ・電池カバーを元通りにかぶせ、パチンと音がするまで押し込みます。

※音声入力端子にコードを接続する場合(平型マイク・光センサー・ファックス用コード)は必ずダイヤルの調整をしてください。



※出来るだけ低い感度にします。

1. 事前に送信ボタンを押して送受信器に表示が出ることを確認してください。
2. ダイヤルを左に回し、止まる箇所が最低の感度になります。右に回していくと高くなります。
取り付けの際は両方のダイヤルを右にドライバ等を使用し、回していただき、(感度が高い状態)から少しずつダイヤルを左に(感度を低く)回し、平型マイクや光センサーが反応するかテストしてください。
3. 音声検出時間調整ダイヤルのテストを繰り返し、出来るだけ低い感度にします。
4. 同様に音量入力感度調整ダイヤルのテストを繰り返し、出来るだけ小さい感度にします。

送受信器を玄関やファックスなど、ご使用になる場所に設置してからご使用ください。
※設置方法は別紙「取り付け説明書」をご覧ください。

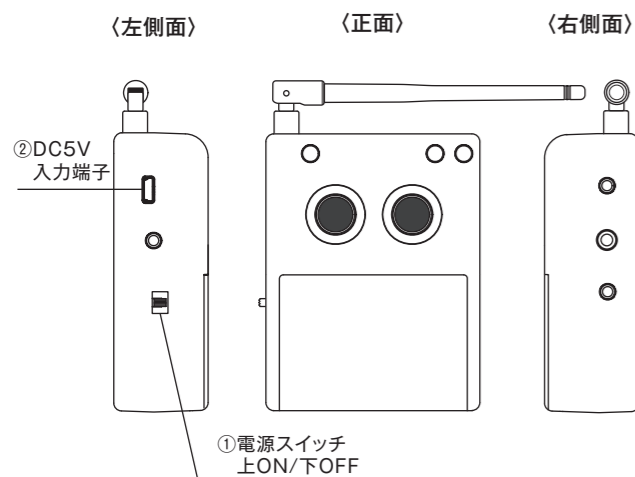
【基本的な動作】

- ・送信ボタンを押すと送信ランプが約0.5秒間点灯し、信号を発信します。
- ・音声入力端子に接続された(平型/ピンマイク/光センサー)が反応すると、送信ランプが約0.5秒間点灯し信号を発信します。
- ・音声入力端子に接続されたベルフラッシュャーがファックス(電話)受信に反応すると、送信ランプが約0.5秒間点灯し信号を発信します。
- ・外部接点入力端子に接続した接点入力コードから接点信号が入力されると、送信ランプが約0.5秒間点灯し信号を発信します。
- ・送受信器は単4電池2本(ニッケル水素またはアルカリ)もしくはACアダプタで動作します。
(電池とACアダプタを併用使用した場合はACアダプタからの電源が優先されます。尚、アルカリ電池を長時間ご使用にならない時は電池を取り外しておいてください)
※電池で使用する場合、送信ボタンを押して送信ランプが点滅しなければ電池の寿命切れですので、単4電池を交換(ニッケル水素電池の場合は充電)してください。

※専用アプリケーションソフトをインストールしたパソコンに接続することで、パソコン上から一斉呼び出し、個別呼び出しの他、メッセージの作成等、様々な操作ができます。
詳しくは専用アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

シルウォッチの使い方

4.中継器(SWSR-P125)(オプション)



【基本的な動作】

- ・送受信器から発信された信号を受信し、その信号を発信いたします。
- ※中継器から発信される信号は約2~5秒程度遅れます。
- ※中継器の押しボタンは機能を停止させてありますので使用できません。
- ※遅延時間はご使用の環境・電波状況によって変動します。

- ・中継器は単4電池2本もしくはACアダプタで動作します。(電池とACアダプタを併用使用した場合はACアダプタからの電源が優先されます。尚、長時間ご使用にならないときは電池を取り外しておいてください)
- ※中継器は通常、常時電源ONで使用しますので、電池ではすぐに消耗します。

中継器の電池交換の方法

- ・電池カバーを押しながら下へずらしてはずします。
- ・+、-の向きに注意し、単4電池を2本入れます。
- ・電池カバーを元通りにかぶせ、パチンと音がするまで押し込みます。

☆通信 到達時間について

- ・送受信器からの送信通信到達時間は約4秒となります。中継器を経由すると1台あたりさらに約4秒かかります。
- ・腕時計型送受信器からの応答通信到達時間は他の腕時計型送受信器まで約8秒かかります。中継器を経由すると1台あたりさらに約4秒かかります。
- ※ただしこの到達時間はあくまでも設計上の時間です。使用台数、使用環境及び使用する場所の設備の配置などにより大きく変わりますので、ご了承ください。

設定メニュー

※設定メニューに入るにはSELECTボタンを2秒間長押しして下さい。

※設定メニューは

時刻設定 → アラーム設定 → ブザー設定 → 呼出秒設定 → 呼出時バックライト → ID確認 → 通信確認 → 履歴設定 → リモート設定 → 無線設定 → 充電時無線設定 → 動作設定 → 機器IDバージョン → 間欠ミリ秒確認の順番で切り変わります。(UP(▲)ボタン操作時)

※設定中に送信器からの電波が来ると受信します。

時刻設定

現在時刻を合わせることができます。



呼出時バックライト

呼出時、バックライトのON/OFFを設定できます。



アラーム設定

目覚ましの時刻を設定することができます。

アラームは3つまで設定できます。

※アラームは約30秒間バイブが動作します。画面表示は4つのボタンのいずれかを押してアラームを解除するまでアラーム中のままです。

ON⇒設定した時刻に振動する
OFF⇒設定した時刻に振動しない



ID確認

登録されている、GID、MIDを確認できます。GID、MIDはそれぞれ最大16個登録できます。送信側と受信側で同じGID、MIDが登録されていないと呼出されません。



ブザー設定

受信時、アラーム時にブザー音が鳴るように設定できます。

ON⇒ブザーマークが点灯
ブザー音が鳴る
OFF⇒ブザーマーク消える
ブザー音鳴らない



通信確認

使用している無線通信チャンネル番号を確認できます。無線通信チャンネル番号は0~39のいずれかに設定されています。送信側と受信側で同じ無線通信チャンネル番号でないと通信できません。



呼出秒設定

呼出時、ブザー・バイブの鳴動時間を設定できます。鳴動時間は0~30秒で0の場合は停止されるまでエンドレスで鳴動。



履歴設定

保留履歴画面、受信履歴画面の1画面モード/2画面モードの切替設定ができます。



リモート設定

送受信器からリモートでシルウォッチの設定を行えるようになります。通常は使用しません。



無線設定

送受信器からの電波が来ても、受信しないように設定できます。
※無線OFFの場合はアンテナマークが消えます。
※時計・目覚ましの機能のみ使用可能となります。ご注意ください。



ON⇒アンテナマークが点灯 受信する
OFF⇒アンテナマークが消える 受信しない

充電時無線設定

充電中に送受信器から電波が来ても受信しないように設定できます。



充電中ON⇒受信する
充電中OFF⇒受信しない

※充電時無線設定ON時でも、充電器装着後約3分間は受信できません。

動作設定

腕時計型送受信器の電源を切ることができます。



※動作OFFにすると受信、アラーム等全て振動しません。
※しばらく使用しないときに設定してください。
※電源を入れる時はMENUボタンを長押し(約2秒間)すると電源が入ります。

OFF⇒電源切

機器ID・バージョン

シルウォッチの、機器ID (RID) と機器バージョンを確認できます。



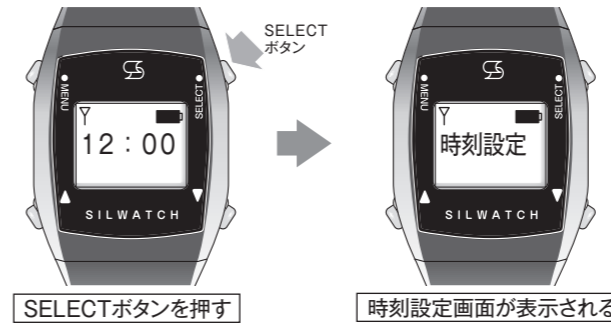
間欠ミリ秒確認

シルウォッチが間欠受信する周期を確認できます。



時刻設定 ※現在時刻を合わせることができます。

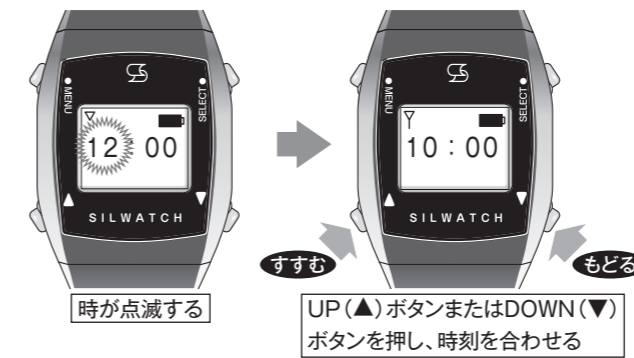
例：午前10:10に合わせるとき ※時刻は24時間表記です。
①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



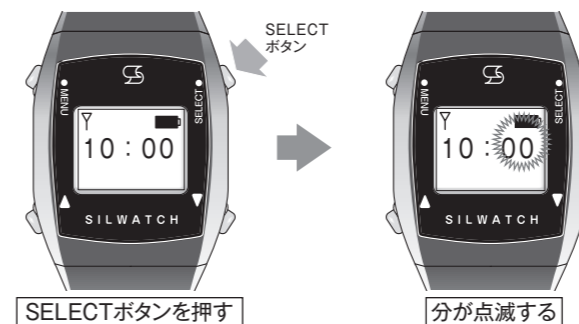
②時刻設定の画面でSELECTボタンを1回押します。



③時が点滅します。UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで時刻を合わせます。



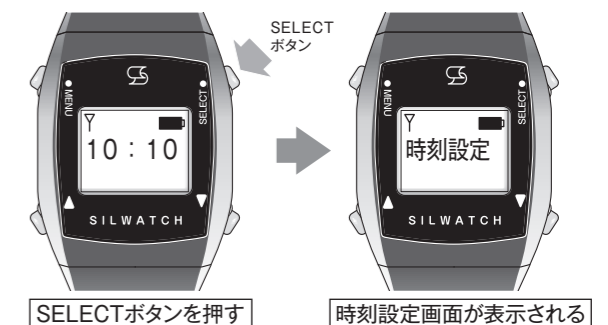
④時刻を合わせ、SELECTボタンを1回押し決定します。分が点滅します。



⑤UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで分を合わせます。



⑥分を合わせSELECTボタンを1回押し決定します。時刻設定の画面に戻ります。



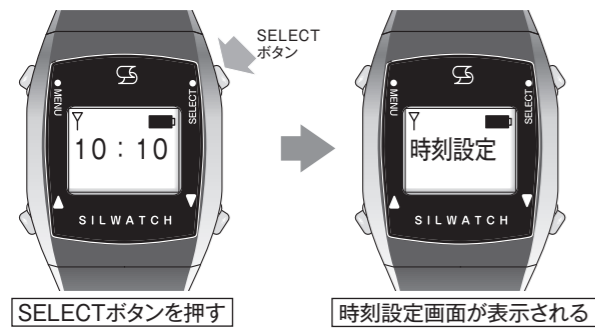
⑦MENUボタンを押すと時刻表示に戻り、合わせた時刻が表示されます。



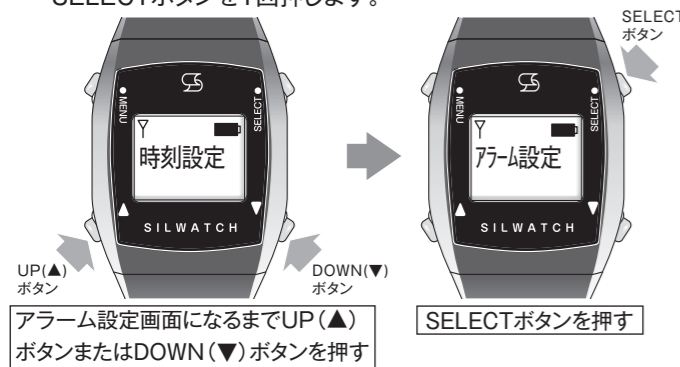
アラーム設定 ※目覚ましの時刻の設定ができます。

例:午前06:30に目覚ましを合わせるとき
※時刻は24時間表記です。

①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



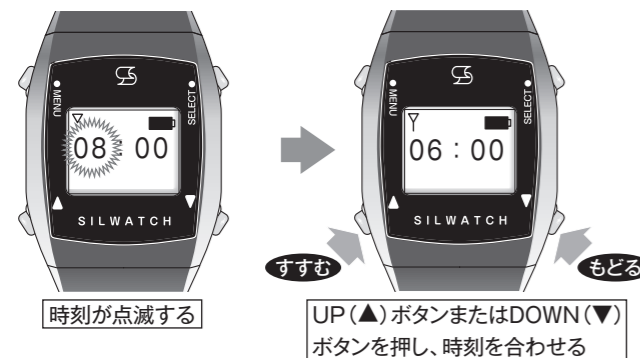
②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し「アラーム設定」の画面を表示させます。「アラーム設定」の画面を表示させたら、SELECTボタンを1回押します。



③「アラーム1」の画面が表示され、SELECTボタンを1回押しします。



④時が点滅します。UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで起きたい時刻を合わせます。



⑤時刻を合わせ、SELECTボタンを1回押し決定します。分が点滅します。



⑥UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで分を合わせます。



⑦分があったらSELECTボタンを押し決定、「アラーム OFF」と表示されます。



⑧UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンでONを選びます。



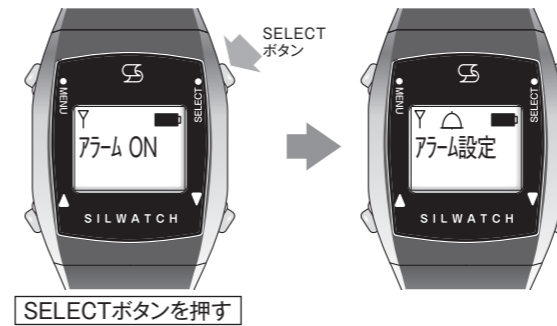
アラーム設定を解除するときは⑧でOFFにしてください。



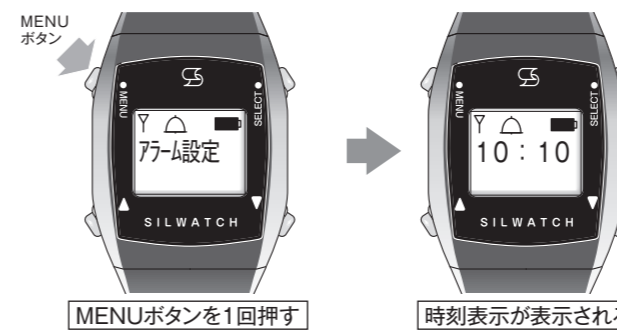
UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し、OFFを選ぶ

⑨SELECTボタンを押すと「アラーム設定」の画面が表示されます。

アラームONのときは、△マークが表示されます。



⑩MENUボタンを押すと時刻表示に戻ります。



⑪設定した時刻になると約30秒間振動します。



アラーム(振動)を止める方法

4つのボタンのどれかを振動が止まるまで押してください。



※画面の表示はボタンを押してアラーム解除するまでアラーム中のみです。

表示切替について

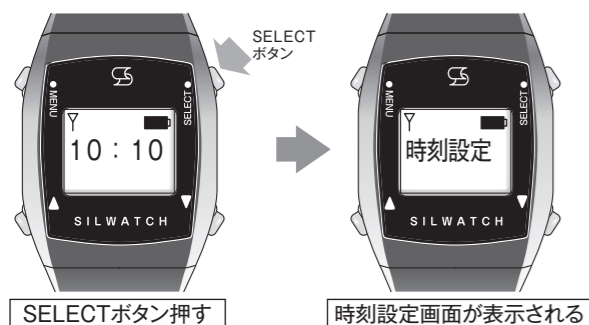
※アラームは3件まで登録でき、UP(▲)ボタンを押す(③のとき)と、「アラーム1」・アラーム2...と順に画面表示が切り替わります。



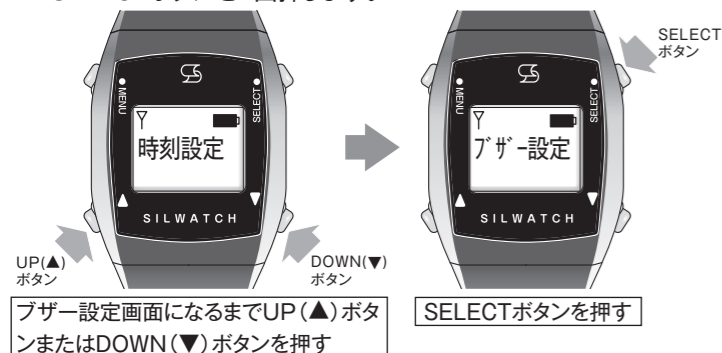
ブザー設定 ※受信時、アラーム時にブザー音が鳴るように設定できます。初期設定はOFFになっています。

ON⇒マークが点灯 ブザー音が鳴る
OFF⇒マーク消える ブザー音鳴らない

①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し「ブザー設定」の画面を表示させます。「ブザー設定」の画面を表示させたら、SELECTボタンを1回押します。



③「ブザーOFF」の画面が表示されます。



④UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンでONを選びます。

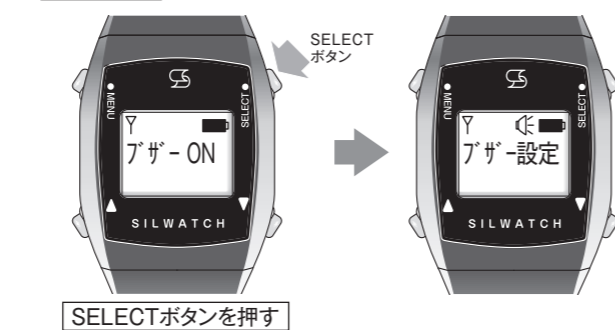


ブザー設定を解除するときは④でOFFにしてください。

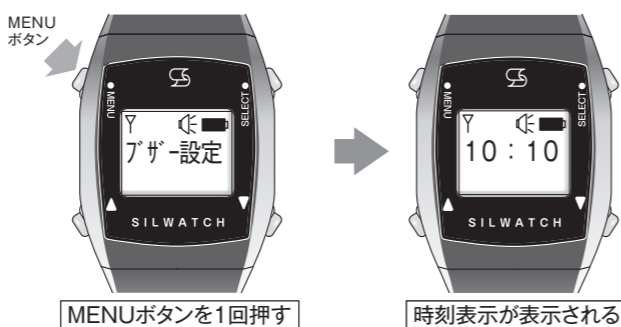


UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し、OFFを選ぶ

⑤SELECTボタンを押すと「ブザー設定」の画面が表示されます。「ブザーON」のときは、マークが表示されます。



⑥MENUボタンを押すと時刻表示に戻ります。

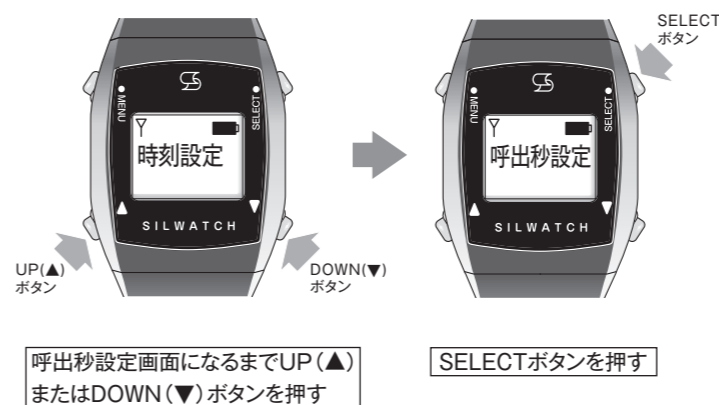


呼出秒設定 ※受信時、呼出表示が行われる秒数を設定できます。初期設定は10秒になっています。

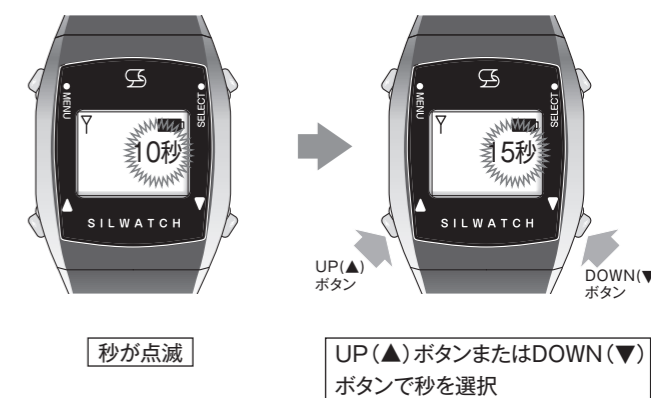
①SELECTボタンを押します。「時刻設定」画面が表示されます。



②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し「呼出秒設定」の画面を表示させます。「呼出秒設定」の画面を表示させたらSELECTボタンを1回押します。



③現行の呼出秒が表示され、秒が点滅します。UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで、秒を選択します。



④SELECTボタンを押すと「呼出秒設定画面」が表示されます。「呼出秒設定画面」でMENUボタンを押すと、時計表示になります。



呼出時バックライト設定

※呼出表示中バックライトのON/OFFを設定できます。初期設定はONになっています。

①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



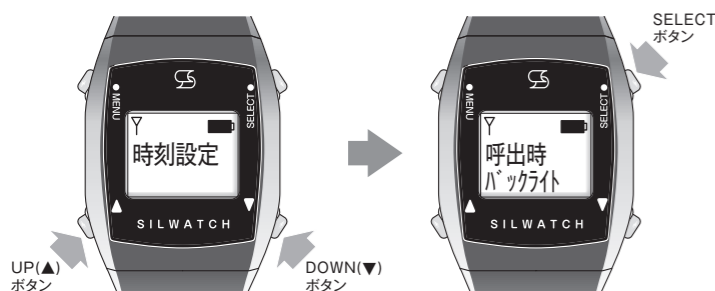
SELECTボタンを押す

時刻設定画面が表示される

②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押して

呼出時バックライトの画面を表示させます。

呼出時バックライトの画面を表示させたらSELECTボタンを1回押します。

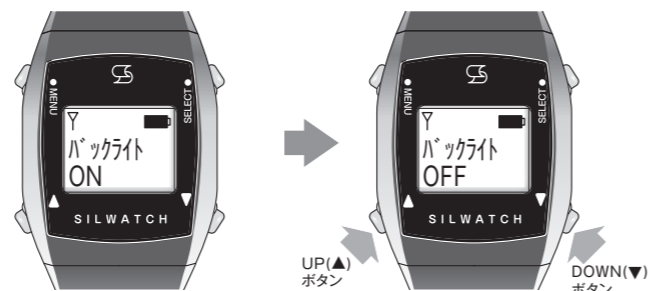


呼出時バックライト画面になるまでUP(▲)またはDOWN(▼)ボタンを押す

SELECTボタンを押す

③現行の設定内容が表示されます。

UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで、希望のON/OFFを選択します。

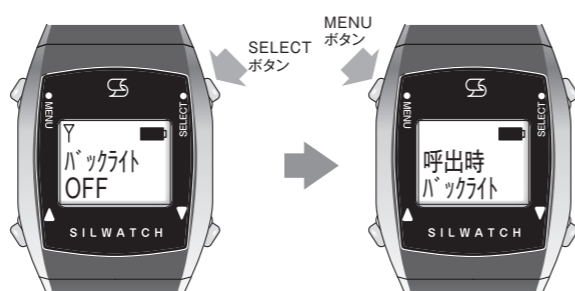


現行の設定内容が表示

UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンでON/OFFを選択

④SELECTボタンを押すと呼出時バックライト画面が表示されます。

呼出時バックライト画面でMENUボタンを押すと、時計表示になります。



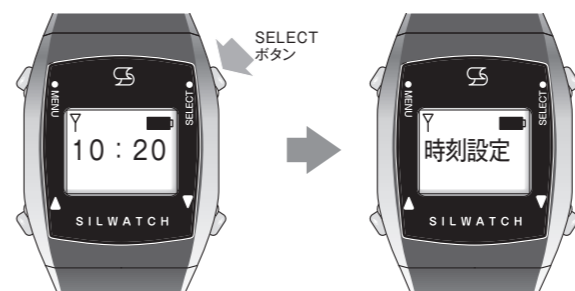
選択したON/OFFが表示



ID確認

※GID(グループID)およびMID(メッセージID)の設定内容を確認できます。

①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



SELECTボタンを押す

時刻設定画面が表示される

②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押してID確認の画面を表示させます。ID確認の画面を表示させたらSELECTボタンを1回押します。



ID確認画面になるまでUP(▲)またはDOWN(▼)ボタンを押す

SELECTボタンを押す

③GID、1番目と2番目の内容が表示されます。UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで、3番目…16番目まで順次表示されます。



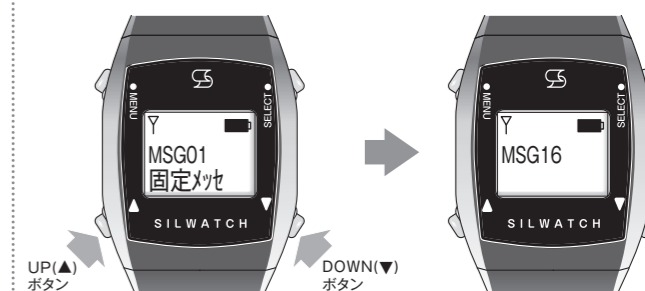
④GID、15番目と16番目の表示中にUP(▲)ボタンを押すとMID表示となり、1番目のMIDの設定内容が表示されます。



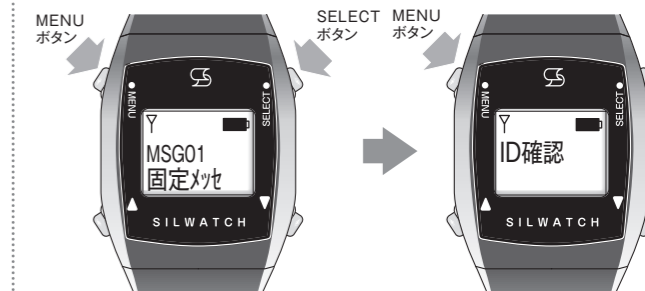
メッセージの前半表示

メッセージの後半表示

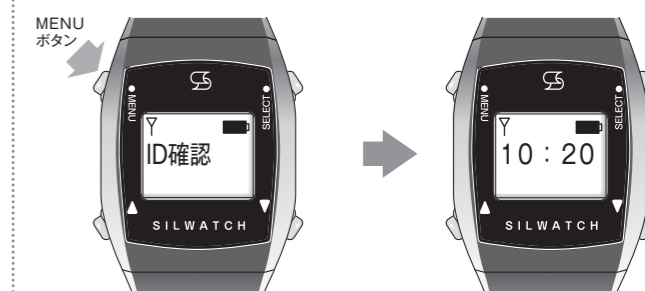
⑤UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで16番目のメッセージまで順次表示されます。



⑥GIDまたはMID表示中にMENUボタンまたはSELECTボタンを押すとID確認画面になります。

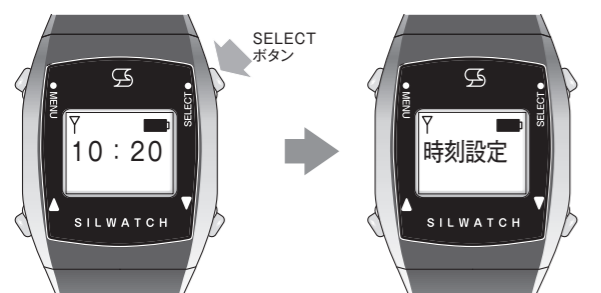


⑦ID確認画面でMENUボタンを押すと、時計表示画面になります。



通信確認 ※無線通信に使用している通信チャンネル番号が確認できます。

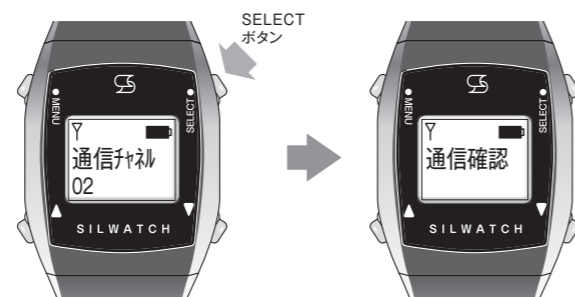
①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



SELECTボタンを押す

時刻設定画面が表示される

③通信チャンネル番号が表示されます。通信チャンネル番号表示中にSELECTボタンまたはMENUボタンを押すと通信確認画面になります。



SELECTボタン

②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し通信確認の画面を表示させます。通信確認の画面を表示させたらSELECTボタンを1回押します。



UP(▲)ボタン

DOWN(▼)ボタン

SELECTボタン

ID確認画面になるまでUP(▲)またはDOWN(▼)ボタンを押す

SELECTボタンを押す

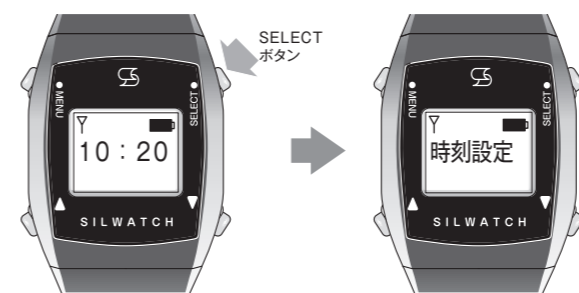
④通信確認画面でMENUボタンを押すと時計表示になります。



MENUボタン

履歴設定 ※保留履歴、受信履歴の表示モードを、1画面モード/2画面モードに切替えます。

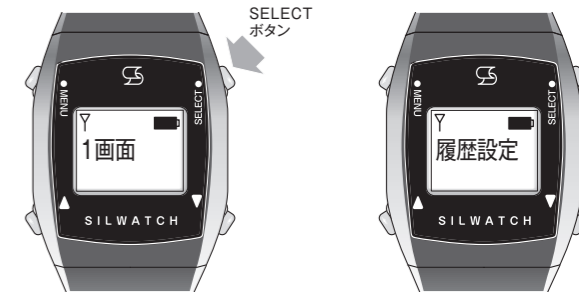
①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



SELECTボタンを押す

時刻設定画面が表示される

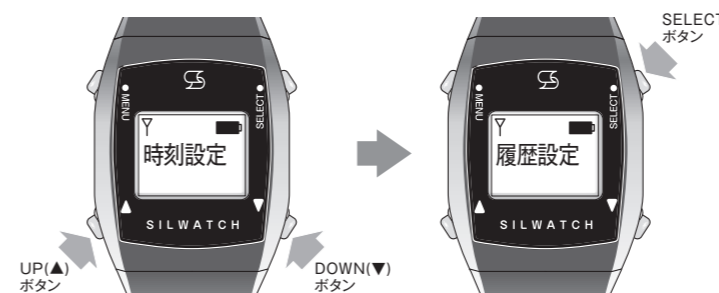
④UP(▲)ボタンで2画面モードが、DOWN(▼)ボタンで1画面モードが選択されますので、目的のモードを選択し、SELECTボタンを押します。



SELECTボタンを押す

履歴設定画面が表示されます

②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し履歴設定の画面を表示させます。履歴設定の画面を表示させたらSELECTボタンを1回押します。



UP(▲)ボタン

DOWN(▼)ボタン

SELECTボタン

履歴設定画面になるまでUP(▲)またはDOWN(▼)ボタンを押す

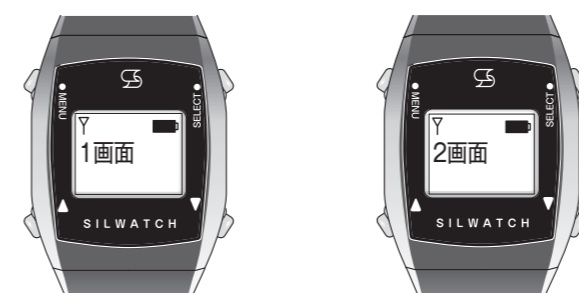
SELECTボタンを押す

⑤履歴設定画面でMENUボタンを押すと時計表示になります。



MENUボタン

③現在の設定モードが表示されます。

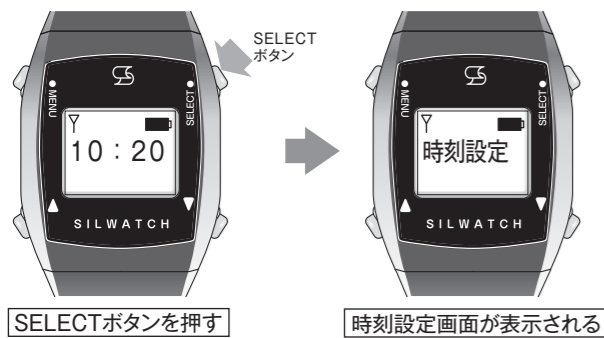


現在1画面モードの場合

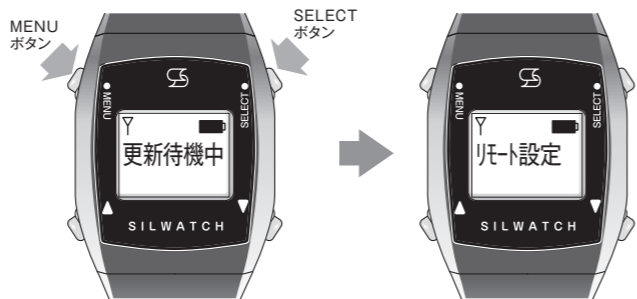
現在2画面モードの場合

リモート設定 ※シルウォッチの各種設定内容を更新するためのモードを選択します。(通常は使用しません。)

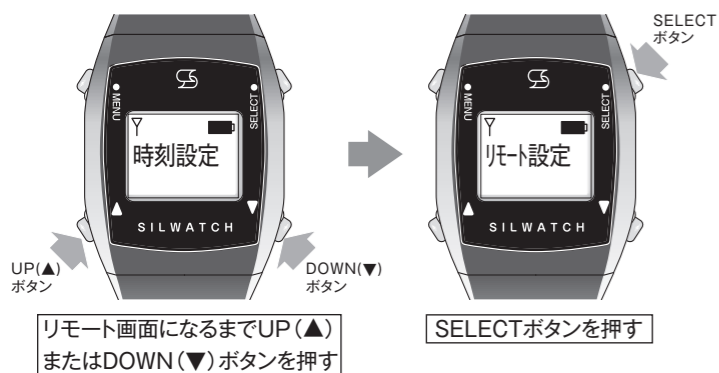
①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



④設定が完了したら、SELECTボタンまたはMENUボタンを押すとリモート設定画面が表示されます



②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押しリモート設定の画面を表示させます。リモート設定の画面を表示させたらSELECTボタンを1回押します。



⑤リモート設定画面でMENUボタンを押すと時計表示になります。



③更新待機中画面が表示され送受信機経由で各種の設定が可能になります。

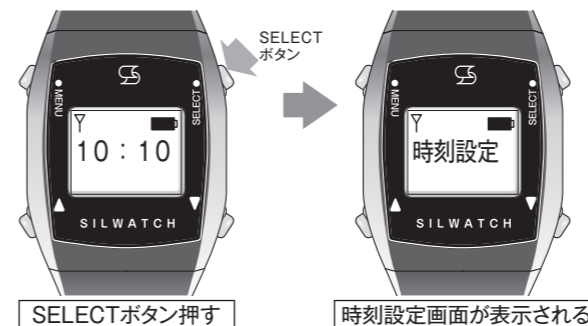


無線設定 ※送信器から電波が来ても、受信しないように設定できます。初期設定はONになっています。

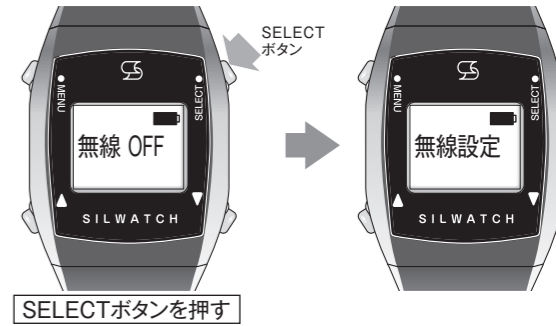
※無線OFFの場合は▽マークが消えます。
 ※時計・目覚まし機能のみ使用可能となりますのでご注意ください。

ON⇒▽マークが点灯 受信する
 OFF⇒▽マークが消える 受信しない

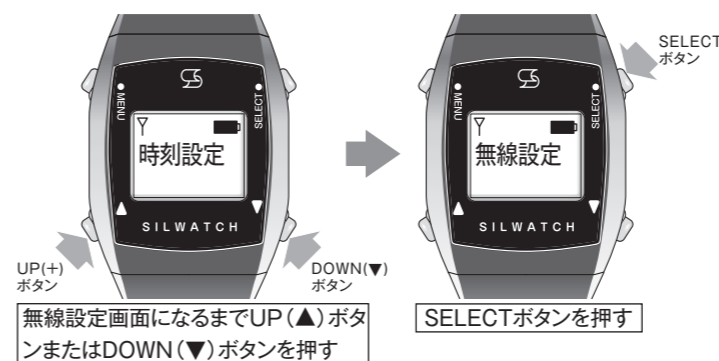
①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



⑤SELECTボタンを押すと無線設定の画面が表示されます。



②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し無線設定の画面を表示させます。無線設定の画面を表示させたら、SELECTボタンを1回押します。



⑥MENUボタンを押すと時刻表示に戻ります。
 ※送受信器から電波が来ても受信しません。



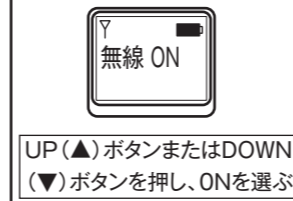
③無線ONの画面が表示されます。



④UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで無線OFFを選びます。



無線を設定するときは④でONにしてください。



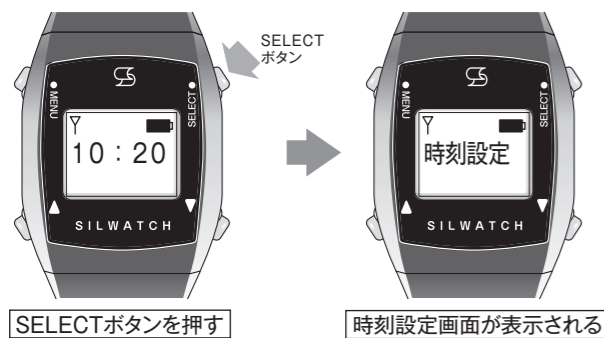
■ご注意ください!
 無線OFFのとき(▽マークが消えているとき)は送受信器からの電波を受信することができません!!
 例えば…玄関に来客があっても振動しません!!
 必ず▽マークを表示させた状態でご使用ください。



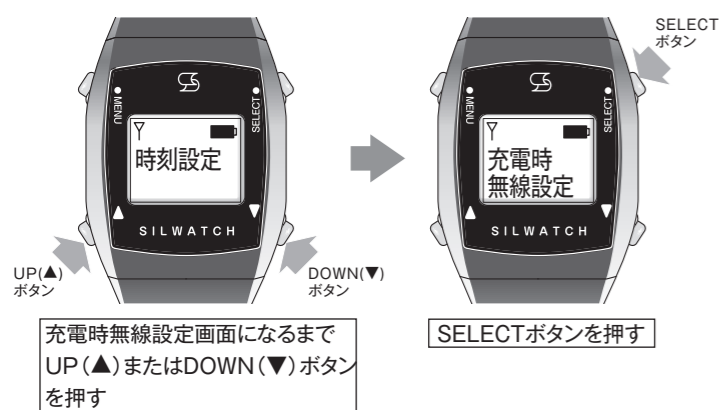
充電時無線設定

※シルウォッチが充電中に呼出を受け付けるか否かを設定します。

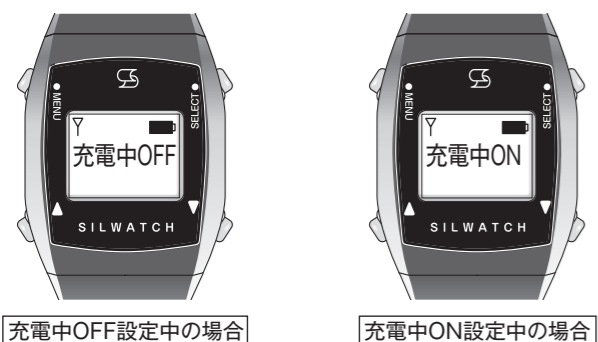
①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し充電時無線設定の画面を表示させます。充電時無線設定の画面を表示させたらSELECTボタンを1回押します。



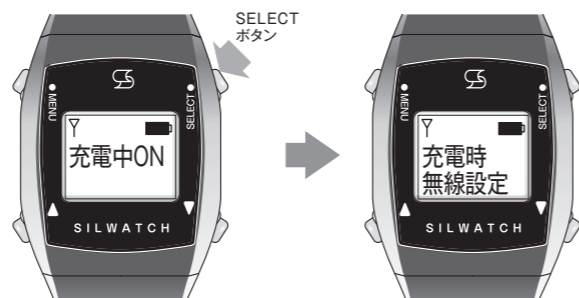
③現在の設定内容が表示されます。



④UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで目的のON/OFFを選択します。



⑤目的のON/OFFが表示されている状態で、SELECTボタンを押します。充電時無線設定画面が表示されます。



⑥充電時無線設定画面でMENUボタンを押すと時計表示になります。



※充電中ONにした場合でも振動はしません。

この時に呼出を受けた場合、充電器から腕時計型送受信器をはずした時に保留○件と画面が表示されます。

※充電中ONにした場合でも、充電器装着後約3分間は受信できません。

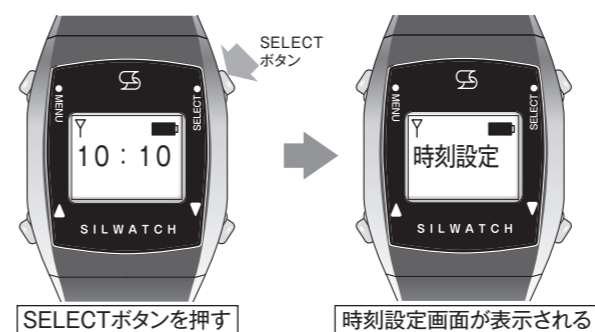
動作設定

※腕時計型受信器の電源を切ることができます。

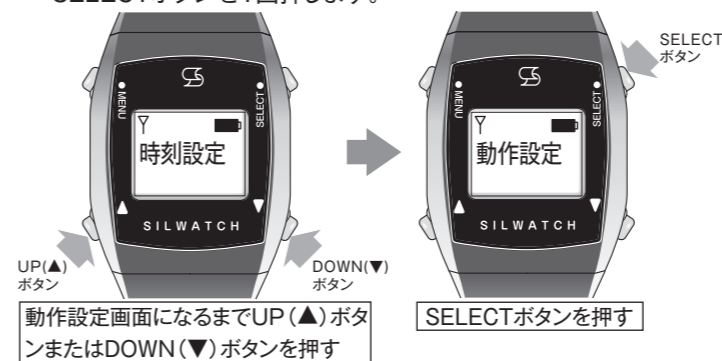
※動作OFFにすると受信、アラーム等全て動作しません。
※しばらく使用しないときに設定してください。
※電源を入れる時はMENUボタンを長押し(約2秒間)すると電源が入ります。

OFF⇒電源切

①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



②UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンを押し動作設定の画面を表示させます。動作設定の画面を表示させたら、SELECTボタンを1回押します。



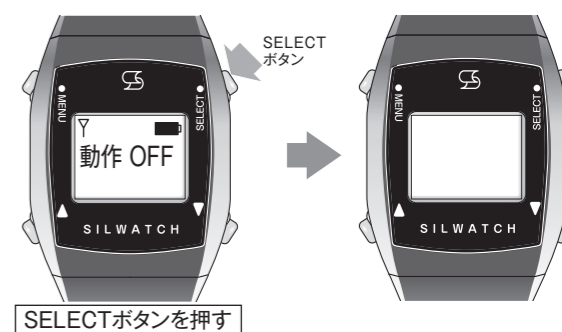
③動作ONの画面が表示されます。



④UP(▲)ボタンまたはDOWN(▼)ボタンで動作OFFを選びます。



⑤SELECTボタンを押すと電源が切れます。



■電源を入れる方法

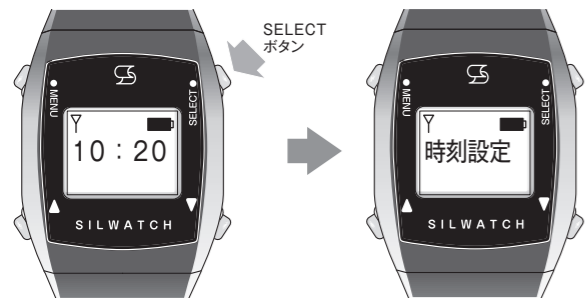
MENUボタンを長押し(約2秒間)します。通常画面が表示されます。

※時刻は合っていないこともあります。



機器ID・バージョン ※シルウォッチの機器ID (RID)と機器バージョンを確認できます。

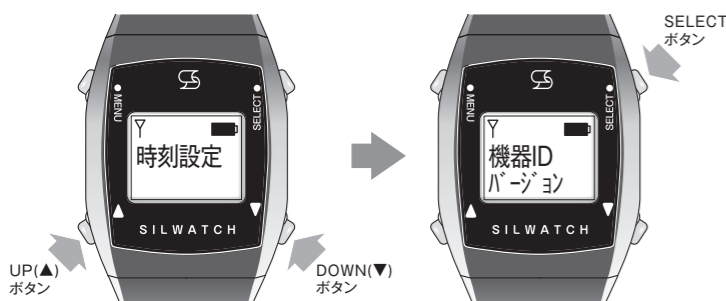
①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



SELECTボタンを押す

時刻設定画面が表示される

②UP(▼)ボタンまたはDOWN(▲)ボタンを押し
機器IDバージョンの画面を表示させます。機器IDバージョン
の画面を表示させたらSELECTボタンを1回押します。



機器IDバージョン画面になるまで
UP(▲)またはDOWN(▼)ボタン
を押す

SELECTボタンを押す

③下段に、バージョンが、上段に機器IDが表示されます。
機器IDはシルウォッチのRIDです。



機器ID、バージョンを表示

④機器ID、バージョン表示中に、SELECTボタンまたはMENUボ
タンを押すと、機器IDバージョン画面になります。

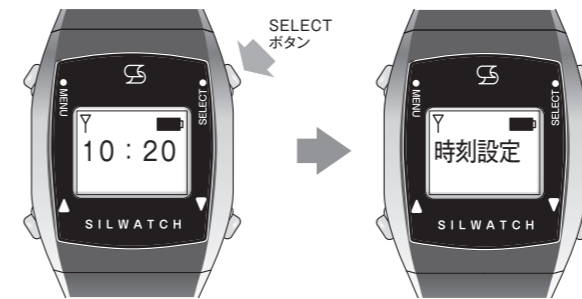


⑤機器IDバージョン画面で、MENUボタンを押すと時計表示にな
ります。



間欠ミリ秒確認 ※シルウォッチの間欠受信時間を確認できます。

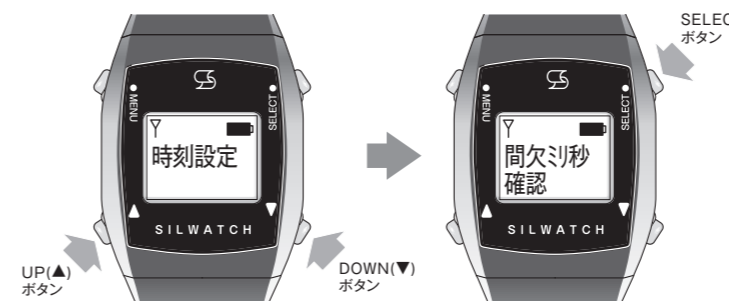
①SELECTボタンを押します。時刻設定画面が表示されます。



SELECTボタンを押す

時刻設定画面が表示される

②UP(▼)ボタンまたはDOWN(▲)ボタンを押し
間欠ミリ秒確認の画面を表示させます。間欠ミリ秒確認の画
面を表示させたらSELECTボタンを1回押します。



間欠ミリ秒画面になるまで
UP(▲)またはDOWN(▼)ボタン
を押す

SELECTボタンを押す

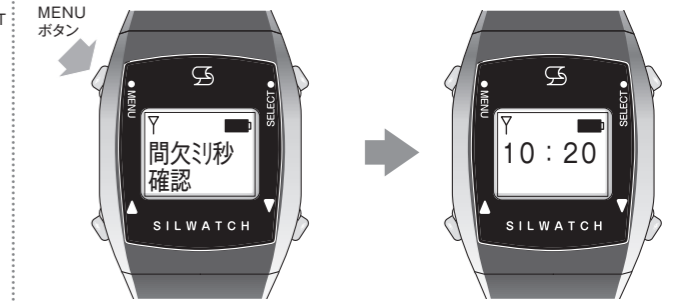
③間欠ミリ秒画面で、SELECTボタンを押すと、間欠受信時間が
表示されます。



④間欠受信時間表示中に、SELECTボタンまたはMENUボタ
ンを押すと、間欠ミリ秒確認画面が表示されます。

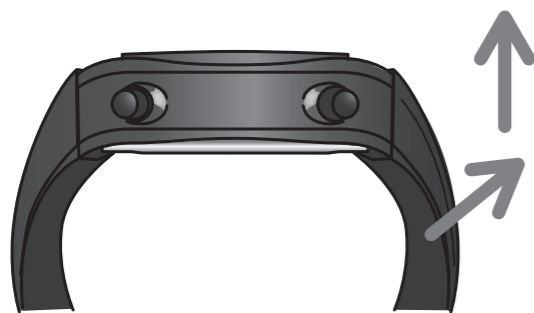


⑤間欠ミリ秒画面でMENUボタンを押すと時計表示にな
ります。



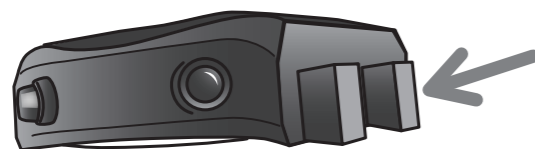
バンドの着脱方法

①外す時



バンドを斜め上に引っ張ったまま上に持ち上げる

②装着時



ガイドにバンドの溝を合わせて画面側から押し込む

バンドは画面上側に短い方を、下側に長い方を装着して下さい。

よくあるご質問

Q：腕時計型送受信器の電源が入りません。

A：MENUボタンを長押し(約2秒間)すると電源が入り、時刻が表示されます。

Q：時刻が「00:00」に戻ってしまう。

A：充電が切れると、初期設定に全てもどります。時刻設定をしてください。

※充電が切れる前に充電をされることをお勧めします。

➡ P18

Q：時刻が表示されたまま、突然振動が始まりました。

A：アラーム設定が動作しています。

4つのボタンのいずれかを長く押しと止まります。

アラームを解除する場合はアラーム設定をOFFにしてください。

➡ P19

Q：振動する時に音も出ているようです。

A：ブザー設定がONになっています。ブザー設定をOFFにしてください。

➡ P21

Q：受信時に反応しません。

A：アンテナのマークが表示されているかご確認ください。

アンテナマークが表示されていない場合は無線設定をONにしてください。

➡ P28

Q：しばらくシルウォッチを使用しません。電源を切る方法は？

A：動作設定をOFFに設定してください。

➡ P30

Q：充電電池は1回の充電でどれ位持ちますか。

A：1日5~6回使用で約4日間持ちます。

Q：故障したと思われます。

A：購入した代理店にご連絡ください。東京信友で精査して修理費用をお知らせします。

Q：充電中に受信するように設定したい。

A：充電時無線設定をONに設定してください。

➡ P29

Q：充電をしばらくしたら、「充電中」の表示が消え、時刻表示になりました。充電が出来ていないのですか？

A：充電が完了すると時刻表示になりますので、充電が完了したということです。

通常、空の状態から約3時間で充電は完了となります。

※充電時無線ON設定時

Q：腕時計型送受信器を充電器に装着しても充電できません。

A：腕時計型送受信器の装着向きをご確認ください。送受信器の端子と充電器の充電端子が合わないと充電出来ません。

Q：充電器に装着し、外すと何も表示されない。

A：充電時無線設定がOFFになっています。MENUボタンを長押し(約2秒間)して電源を入れてください。

Q：送受信器の送信ランプを押すと振動しますが、玄関の音に反応しない。

A：送受信器の音声検出時間調整ダイヤルと音量入力感度調整ダイヤルを調整してください。

➡ P14

Q：充電してもすぐ要充電になります。

A：充電電池が劣化している可能性があります。充電電池の交換をご確認ください。



仕様

仕様	腕時計型送受信器 (SWSR-2130)	充電器 (SWC-1140)	送受信器 (SWSR-P125)	中継器 (SWSR-P125)
使用電波	429MHz帯	—	429MHz帯	429MHz帯
送信出力	特定小電力10mW	—	特定小電力10mW	特定小電力10mW
通信距離(m)	200(見通し)	—	—	300(見通し)
使用電源	リチウムイオン電池3.7V	AC100V-DC5Vアダプタ	AC100V-DC5Vアダプタ または単4電池(2本)	AC100V・DC5Vアダプタ または単4電池(2本)
定格電流	150mA MAX	70mA MAX	50mA MAX	50mA MAX
外形寸法(mm)	43×38×16	84×46×31	85×62×24(アンテナ、突起部を除く)	
重量(g)	約45	約60	約75	約75
動作温度	-10度~+50度	-10度~+50度	-10度~+50度	-10度~+50度
防水性能	JIS防水保護等級5級相当	—	—	—
付属品	リチウムイオン電池3.7V(内蔵)	AC100V-DC5Vアダプタ	AC100V-DC5Vアダプタ	AC100V-DC5Vアダプタ
電池寿命	4日(*1)	—	(*2)	(*2)

(中継器を使用する毎に、300m以上(見通し)通信距離が伸びます。)

*1.腕時計型送受信器の電池寿命は通常使用(1日5~6回使用、時間表示あり)の場合です。

*2.電池は緊急時対応です。概ね8時間の寿命です。

腕時計型送受信器、送受信器、中継器は、電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許申請は不要です。したがって次のことを厳守してください。

- 製品に付いているラベルは、技術基準適合証明の印です。絶対にはがさないでください。
- ラベルの付いている製品を分解したり、改造して使用することはできません。
- 不法に改造して使用すると、法律により罰せられます。

・本製品は電波通信システムですので、周辺の電波状況によりまれに動作不良になることがあります。
 ・本仕様は改良のため予告なしに変更する場合があります。

